

# — 学 会 消 息 —

## 1. 日本気象学会創立75周年記念事業に関して

75周年記念事業については、担当委員会、理事会で国際会議の招致を含めて、慎重構想を練っているが、その一環として記念論文集を出版することとなった(別項参照)。

## 2. 和達氏パリへ

中央気象台長和達清夫氏は、4月17日から21日にわたってパリで行われる国際測地学地球物理学联合会(IUGG)の評議委員会に出席されるため、4月14日に羽田を出発される予定。

## 3. 畠山氏アリゾナ大学へ

気象研究所長畠山久尙氏はアリゾナ大学主催のもとに行われる人工降雨に関する会議(正式名は Conference on the Scientific Basis for Weather Modification Study)に出席されるため4月8日羽田を立たれる予定。

## 4. 予報技術検討会行わる

2月14、5日に中村記念館において、全国的な予報技術検討会が、台風予報、旬日予報、季節予報の分野について開催された。

## 5. 日本気象学会事務局、総会準備に多忙

会員からの申込書を整理し、会誌別による送付カード等の整理、名簿の作成等、総会準備のため、多忙を極めている。

## 6. 総会委員、選挙管理委員の顔ぶれ決定

総会委員は既報の通り、正野理事が委員長となり、神山、岸保、松本の各理事に、東大の磯野謙治、都田菊郎両氏が委嘱され、準備を進めている。

選挙管理委員会は、松本理事が担当理事となり、佐々木嘉和、渡辺和夫、武田武、清水逸郎、大塚竜蔵、淵秀隆の六氏が委嘱されている。

## 7. 関西支部年会並びに月例会開催日決る

関西支部では年会を4月20日、21日の両日に大阪府教育会館において開かれることを決定、その旨告示している。なお、3月例会は3月16日大阪管区気象台で、長期予報を中心に開催された。

## 日本気象学会創立75周年 記念論文募集

明1957年は日本気象学会創立75周年にあたりますので、記念事業の一つとして論文集発行の計画を立てております。広く会員各位の論文を掲載し、記念といたしたく、次の要領で論文を募集します。ふるって投稿されるようお願いします。

1. 欧文、和文を問わない。
2. 執筆要領は"気象集誌"および"天気"の投稿規程に準じ、一編の長さは印刷して8ページ以内とする。
3. メ切 1957年3月末日。
4. 体裁はB5判、横組印刷。
5. 会員頒価は実費としますが、原稿数、ページ数によって変動しますので、確定次第公告します。なお分割払等の便法を考えております。

## 昭和31年度 日本気象学会のお知らせ

日 程	時 刻	内 容	場 所
5月17日(木)	午前 9~12時	研 究 発 表	第一会場 理学部講堂
	午後 1~5時		第二会場 学士会館
5月18日(金)	午前 9~12時	研 究 発 表	第一会場 理学部講堂 第二会場 学士会館
	風 休	"集誌"と"天気"の在り方についての懇談会	理 学 部 講 堂
	午後 1~5時	学会賞贈呈 学会賞受賞記念講演会 学 会 総 会	理 学 部 講 堂
	午後 5 時	懇 親 会	学 士 会 館
5月19日(土)	午前 9~12時	シンポジウム "長期予報に関する基礎的諸問題" "雲 物 理"	理 学 部 講 堂
	午後 1 時	エクスカージョン "電子計算機あるいはリレー計算機の見学"の予定	